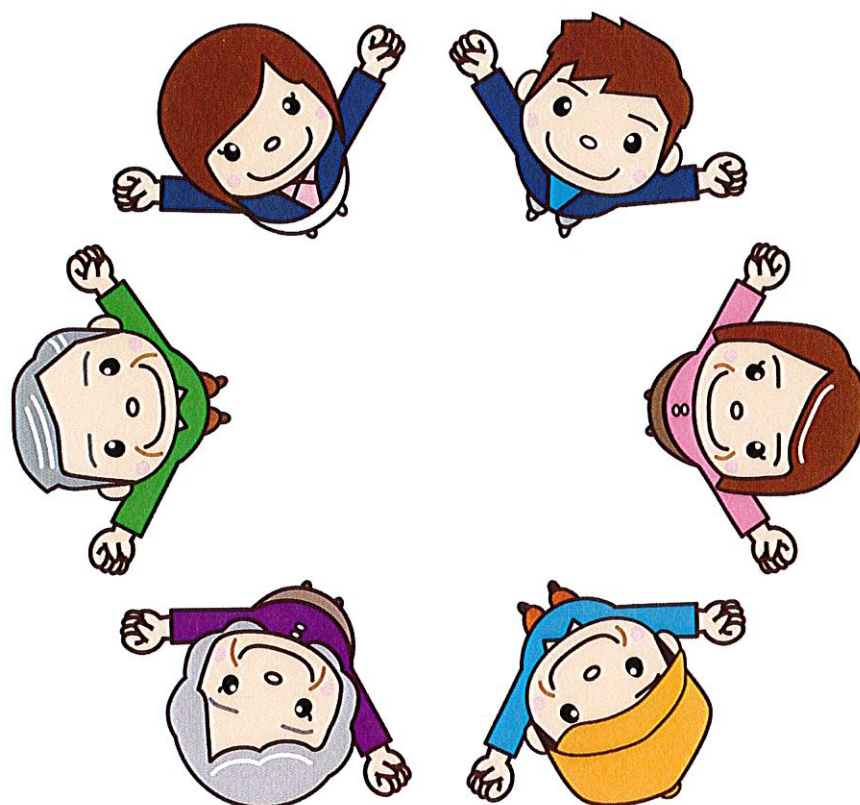


コロナ禍における

サロン・ボランティアグループ 活動者

アンケート まとめ集



社会福祉法人 宮津市社会福祉協議会



ホームページ

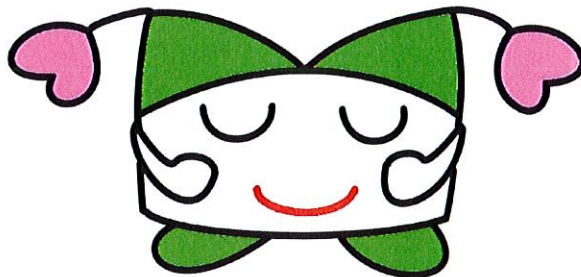
## はじめに…

新型コロナウイルス感染拡大によりボランティア活動やサロン活動の実施が難しい現状が続いています。

そのような中、地域サロンの実情や課題、皆様の思いや先進事例をお伺いし、その貴重なご意見を共有することで、今後の地域福祉活動のあり方を考えていこうという思いでアンケートを実施いたしました。

ボランティア、サロン代表者、スタッフの皆様につきましては、お忙しい中アンケートへのご協力誠にありがとうございました。

結果をまとめましたので、今後の活動に役立てていただければと思います。



# 社協より総括

## 問 1. 現在、サロン・ボランティア活動をおこなっておられますか？

アンケート結果は、**おこなっている**・**おこなっていない**のそれぞれが約半数という結果になりました。

**おこなっている**団体で工夫されている点として、「屋外での活動」「3密の注意」「集まれないから個別訪問」など、新しい生活様式に沿った活動を工夫されていることがアンケート結果として出ている様に思います。

また、**おこなっていない**団体は、緊急事態宣言の影響で公民館の使用禁止期間やコロナに対するみなさんの思いが様々なので、活動の再開が慎重になっている意見も多く見られました。

## 問 2.

コロナ禍におけるご自身の生活の中で、心身の健康のために心がけていることや、気分転換にしていることはありますか？

アンケート結果は、**ある・多少はある**と答えられた方が約8割、**特にない**方が約2割との結果になりました。

**ある・多少はある**と答えられた団体の中で、多く見られた回答として、「散歩」「体操」「筋トレ」「家庭菜園」「趣味」など、皆さん生活のリズムを崩さないようにたくさんの工夫をされている事がわかりました。

また、**特にない**と答えられた方の中にも、生活リズムは崩さないように意識しているとの回答もありました。

社協では、健康体操 DVD などの貸出しも可能ですので、ご希望の際はお気軽にお問い合わせください。

## 問 3.

コロナが収束したら、まずやりたいことはどのようなことですか？

「何も気にせずの活動の再開」「とにかくみんなで集まりたい！」「旅行！」などたくさんのご回答をいただきました。

コロナが早く終息して以前の「あたりまえ」の生活が戻ってほしい！といったみなさまの切実な思いが伝わってきました。

社協としても、1日も早くみんなが笑顔になれるような楽しいイベントや交流を図っていきける日が来ることを願っています。

## ☆その他、生活上の困りごとや社協に期待すること等

今回のアンケートでは、情報提供を希望する回答が多くありました。

社協としては、直接的な交流がなかなか難しい中でも、出来る限りの情報発信をしていきたいと思っています。

具体的に「こんな情報ほしい！」といったことがあれば、いつでもお気軽に問い合わせください。

コロナ禍における他のグループ活動状況など、今回のアンケート結果が少しでもみなさまの参考なれば幸いです。

また、活動への協力なども必要に応じて出来るカタチで参加・協力していきたいと考えていますので、お気軽にご相談ください(\*^-^\*)

## さいごに…

地域の活動は今、無理に再開しないといけないものでは、ありません。

活動できない状況を充電期間と捉えて、コロナが落ち着くことをもう少し待ってみるのもひとつ。

健康管理、感染予防に十分留意しながら、工夫して活動を続けるのもひとつ。

これといった正解がないことが、頭を悩ませる要因のひとつになっているようにも感じています。

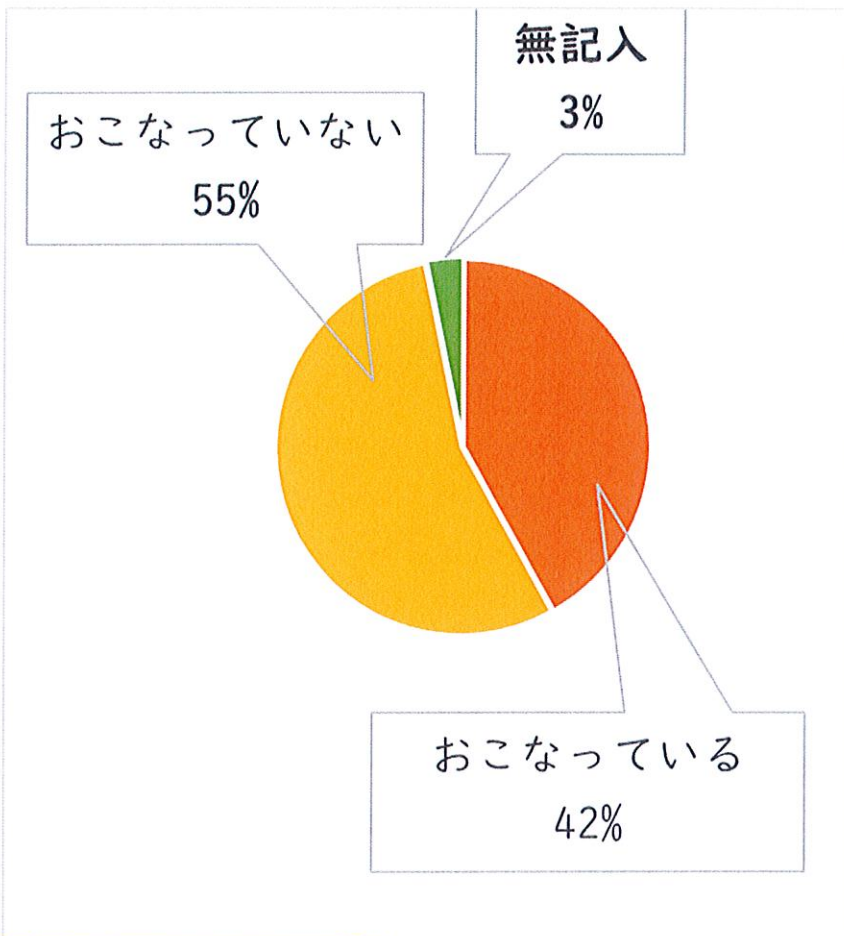
どのようなことでもひとりで悩まず、周囲の人と相談をしながらみんなでこの事態を乗り越えていきましょう！

宮津市社会福祉協議会



## 質問 1

### 現在サロン・ボランティア活動をおこなっておられますか？



(単位：人)

おこなっている	26
おこなっていない	34
無記入	2
回答	62

#### 【おこなっている】

#### 活動内容

##### (ボランティア)

- ・手話学習定例会。コロナ禍により会場が使えない時が多く、困りモチベーションも下がってきている
- ・お誕生日訪問活動。マスクをする。少なくとも1メートル以上離れて話す。ハンドジェルで消毒をこまめにおこなっている
- ・広報、点字京都のダビング作業等基本的なことはやっている
- ・読み聞かせ。図書館を通じて依頼を受けた学校、幼、保へ6月より2名体制で実施中  
感染予防対策としては、マスク(フェイスガード)の装着・シートによる間仕切り・短時間・少人数での実施
- ・みやづ子ども食堂の配食サービスをしている
- ・誕生日訪問、小学児童との花植え(コロナ禍で小学生不参加時は会員のみで実施)
- ・子ども食堂開催自粛の間は持ち帰り弁当で実施

##### (サロン)

- ・例会は一人ひとりの距離をあけ実施。広い会場で環境には注意している
- ・人数限定して、広い場所で、短時間でのサロン開催
- ・多くの人がワクチン接種を終えるまで少人数サロンを予定
- ・4月に一度だけのサロンを開催。これまで参加されていた方の足が遠のいて、次に継ぐことが困難に

- ・自治会回覧のみでの周知。開催の回覧をしてもその後すぐに中止の回覧が回る現状
- ・各家庭内でエコたわしづくり・認知症予防マフ作り
- ・子どもの参加もあるので、zoom(オンライン)により定期的に開催できるようにしている
- ・月に1度ひとり暮らし高齢者を訪問(社協からもらった「マスク」「消毒液」を活用)
- ・「いきいき100歳体操」を週2回実施。本格的なサロン活動の再開は時期的に難しい
- ・小学生の夏休みの期間だが、朝公園で、ラジオ体操をおこなっている。

## 工夫している点

- ・解除になれば普段より短時間で開催。手の洗浄をみんなで確認。常にマスク。お菓子等は前もって小分けにして渡す
- ・十分な換気、間隔に配慮

## カタチを変えての活動

- ・各個人宅訪問安否確認をしている
  - ・クイズや間違い探しなどをプリントにして安否確認を兼ねて個別訪問をしている(月に1回)
  - ・外でのおしゃべり
  - ・野外活動(マスク着用、短時間、間隔をあける、大声は出さないなど…感染防止をおこなった上で)
    - 草取り・寄せ植え・草刈りや施肥、剪定作業、・幼稚園等の草刈り、浜掃除等
- ※緊急事態宣言中は屋外も中止のグループもあり

## その他

- ・緊急事態宣言中は中止としている【複数回答】
- ・“おこなっている”に○をしたが、コロナ禍で何カ月かに一回。協力者同士の話し合いの中で反対意見もある。思うようにサロン開催が難しく、高齢者やひとり暮らし高齢者の事を思うと胸が痛む。楽しみに待っていてくれる人たちのために、早くできると良いですが…
- ・町内で出会っても、サロンの開催について尋ねられる。公民館に行くのが唯一の楽しみだったのに…と言われる

## 【おこなっていない】

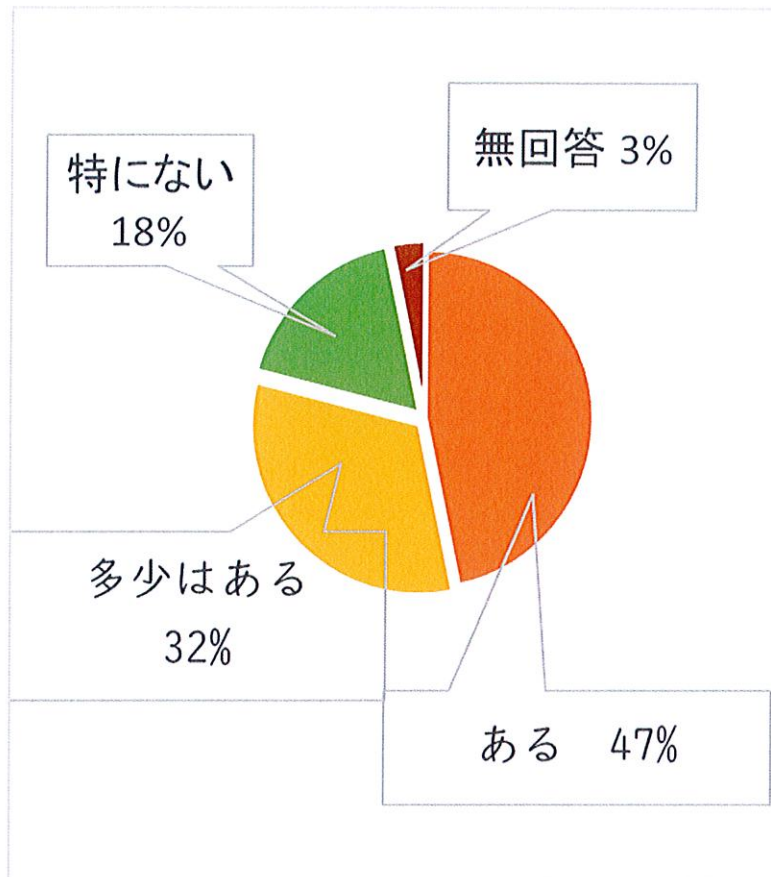
- ・公民館の利用ができないため、お互いの健康状態など音信不通になりがち。身体に障害のある高齢者が多い中、主催者としては不安が高まり、早く「型にとられない気楽なよりどころ」の場が開催できるよう願っている
- ・何かと考えるが、現在の状況下では考えがつかない。(自分だけではなく周囲の意見もあり)
- ・コロナ禍以前より地域の高齢者対象のいろいろなサービス事業が受けられる様になりそちらの方へ行かれる方が多くなり、サロン参加者が少なくなっていた。協力者自体も高齢となり後継者も増えない現状の中で終止することを選んだ。サービス專業参加者の声として「楽しい」と言われていた。今後も継続されることを望む
- ・公民館等の使用許可ができた為、久々に子育てサロンをする予定。感染対策はこれまで同様に窓・ドアを開けて安全ガードをする。トイレには泡ソープとペーパータオルを置く。対外的に催しとして外部からはまだきて頂けないので、のんびりと親子で過ごしてもらえらる時間になればいいと思う
- ・4月末まではコロナ対策をしながら「少人数サロン」を実施した。活動内容も制限される中、“思い出そう若いころ・語り合おう昔の日置”と題し、話題に出たことを整理して冊子にした

り、祭り時には”春まつりサロン“と題し、昔の祭りのビデオ鑑賞をしたりと工夫した。コロナ禍の中、家に閉じこもりがちで変化の少ない高齢者にとってサロンの開催は有意義であった。しかし、コロナ対策には限りがあり不安が大きい

- ・施設からの依頼があつての活動のため、今の状況では活動は無理。ポストコロナ社会におけるやり方を施設の方々といっしょに考えてみたい
- ・社会参加が出来なくなり、行動範囲が狭くなり家に閉じこもりがちで日々でストレスがたまり上手く発散できなくなりうつ状態が出たり、認知症が発覚したりしないか心配である。また、運動不足による体力の衰えも気になる場所である
- ・雨などで訪問者がいない時は寝る前に童謡を歌いながら体を動かしている
- ・活動が中止になり、顔を合わせる事の大切さを感じている。会ったらできるだけ声をかけあうようにしている
- ・コロナに感染しないため、活動は行っていない
- ・公民館が使えないのと、もし何か起きた場合、迷惑がかかる事になって思い切って活動することができない
- ・なかなかみんなの生活様式が見えないので、特にお年寄りには元気かと心配になる。また、集まりがしてほしいという声もあるが、今はできないので、残念に思う
- ・活動を任されるようになってすぐにコロナで右も左もわからないまま自粛の状態である。先輩の方たちと相談しながらコロナの様子を見ながら活動自粛のままの状態である
- ・出会った時に励ましやつながりの会話はしている。会えば変化に気づく
- ・活動自粛期間が長くなり、スタッフ間の交流も一堂に集まることができない。少しずつ活動意欲が低下してきている
- ・年度初め、対象者で独居者の孤独死が起きてとても空しく心痛です
- ・皆で集まって笑ってお喋りしたり、元気よく体を動かしたりしたい
- ・地区の中での声掛けや挨拶の大切さを改めて感じた。かなり孤独感を感じているように思う
- ・みなさん、三密回避やマスク着用などをしっかり対処して真摯に暮らしていると思う
- ・電話で様子を聞くようにしているが、顔を合わせる事が大事と痛感する
- ・普段から健康不安があつたが、コロナ禍で不安神経症になり気温や花粉に振り回されている
- ・スタッフ自体が高齢で、スタッフ同士励ましあっているが、改めて絆を感じる
- ・ずっと子どもと一緒に生活で他の方との交流も安心してできず、お母さんたちのストレスが溜まっていないか
- ・長引くコロナ禍の中、サロン活動が出来ないので会員だけで体操でもしようかと始めたところの緊急事態宣言!!ガッカリ
- ・ラインで交流をしてみた。参加者はスタッフが多かったものの、参加してくれた方は喜んでいただけた
- ・コロナワクチンの接種状況は様々だが、全員が終わることを願う。油断はできないが嬉しい
- ・スタッフもワクチンを打て、安心できるようになってからでもと思っている
- ・公民館の調理室が使用禁止のため、男性教室が実施できていない。由良安寿足湯を令和4年3月末をもって閉所予定。コロナ収束時に教室再開するか現在模索中
- ・活動は行っていないが、少人数の地域なので数か月に1度ぐらいは、顔を合わせて話したり、体調を確認する程度の事はしている
- ・集まって食べ物を手作りしお年寄りに配ることが、この状況でなかなかハードルが高いと考えている。「手作り」がこの後にどうなっていくか不安

## 質問 2

コロナ禍におけるご自身の生活の中で、心身の健康のために心がけていることや、気分転換にしていることはありますか？



ある	29
多少はある	20
特にない	11
無回答	2
回答62	

### 【ある】 【多少はある】

- ・規則正しい生活リズムをすることで、ある程度は健康維持できるように思うので心がけている。自然に歩き動くことかな。
- ・田舎なのであまり変化はない。現在は公民館が使えないので使用する場所を工夫している。
- ・散歩(出会った人と立ち話) 【複数回答】
- ・ランニング
- ・普段は活動に関わる計画等が生活の中心だったが、ストップの関係で自分のことに時間がとれたと良いように解釈するようにしている。収束後のプランを練っている。
- ・体調を感じながら浜掃除。友人と舟釣り。マスク着用、密を避ける等配慮しながら、知人と浜辺のベンチでコーヒーやカップラーメン、弁当会食をしている。
- ・体育館等が使えないので、週1回行っていたソフトバレーやグラウンドゴルフができない。仲よしグループ3人で1か月に1回お喋りを楽しんでいる。
- ・平常時は毎日ターゲットバードゴルフを通じて健康づくりに努めているが、グラウンドが使えず、身体がなまっている。その分、家の周りの草引き等、時間を決めて環境美化にいそしみ気分転換をしている。
- ・マスクや除菌をしながら、朝の散歩や食事に行くなど今までとできるだけ変わらない生活をしている。
- ・仕事をしている事が家にいるより気分転換になる。
- ・子どもといっしょに遊ぶ。
- ・ドライブ 【複数回答】



- ・料理やお菓子作り【複数回答】
- ・家の中で体操 【複数回答】
- ・寺めぐり。手を合わせると気分が安らぐ。
- ・仕事、趣味を含め、自身の能力範囲内でできることを続ける。
- ・畑仕事 【複数回答】
- ・サロン休止中にサロン時話題に出ていたことや、地域に伝わる話や行事など地域の文化や歴史などをまとめ上げ、本を製本中。今後のサロン活動にも活用したい。
- ・食生活の改善
- ・筋トレ 【複数回答】
- ・近所の方との立ち話で、日頃の事や困った愚痴などをお互いに話す。家族のことなどでけっこう忙しい毎日。インスタも気分転換に楽しんでしている。
- ・できるだけ用事は歩いていき、出会った人と会話をするようにしている。
- ・家庭菜園
- ・近所でテーブル・椅子を設置して3~4人でお喋り会【複数回答】
- ・趣味(絵を描く、音楽鑑賞、読書、脳トレゲーム、俳句作りなど)
- ・2~3人で共通する好きなことをする。
- ・ストレッチ体操
- ・SNSで友人と交流【複数回答】
- ・手洗いも大事だが目も洗うようになった。
- ・主人との毎日の会話
- ・料理を作り友達に食べてもらう。
- ・100歳体操
- ・家の中でもとにかく動く!自分を叱咤する日々。時々友達とコーヒータイムを楽しむ

## 【特にない】

- ・できるだけ人と接触しないようにしている
- ・コロナ禍以前の生活リズムを崩さないようにしている

## 質問 3

### コロナが収束したら、まずやりたいことはどのようなことですか？

- ・本来のボランティア・サロン活動の再開【複数回答】
- ・感染予防を取り入れながら、みなさまと打ち解けあってアイデアを出し合って集まりたい
- ・友人、知人とのコミュニケーションを対面でゆっくりと談笑する【複数回答】
- ・マスクなしで元気な声で歌えるサロン、地域の保育所・小学校の園児、児童との楽しい交流サロン。少人数ではなく全員が集まってお互いの元気な笑顔に出会いたい
- ・地域のイベントに参加し、作品展示などの作成、生活習慣病予防の料理教室などの普及活動
- ・友人との会食やお喋り【複数回答】
- ・ひとり暮らしの方も多いので、皆集まって近況の話や体操などもしながらお喋りを楽しんでほしい
- ・とにかく全員で集まりたい
- ・まずはスタッフで集まり今後の活動の在り方を話し合いたい
- ・知人が少なくサロン活動が出会いの場であったので活動内容など期待している
- ・みんなで遊びたい。公民館行事などを増やしてほしい
- ・対面で子育てサロンを開催したい。ラインは便利で気楽だが、やはり顔を見たり反応を見たり抱っこしたりしておやつを食べて交流したい
- ・各種イベントや交流会、懇親会等
- ・旅行【複数回答】
- ・人との出会いを楽しみにしている
- ・コーヒブレイク、ドライブに行きご当地料理の食べ歩きなど。気楽な会食やダベリングなど、自由な時を過ごしたい
- ・市の成人講座など行事の中止が多いのでまずは皆で出掛けたい
- ・補助金を受けた事業を計画通り実施したい。現在動きが取れず困っている。宣言終了を待ち実施の準備をしているところ
- ・ターゲット・バード・ゴルフを仲間とやりたい。生きがいのひとつ。仲間皆同じ思い。認知症予防、健康づくり、仲間を増やしたい
- ・新しくサロン活動を始めたい。どこも高齢になっていて会話を交わしたり体操したりしないとボケそう
- ・サロンの1周年記念行事が出来ていないので行いたい。個人的には仲間とお茶、お花の集まりと小旅行。他県の妹との出会い
- ・離れている家族、親族と会う。地域での会合、バーベキューなど
- ・サロンで積極的に楽しい企画を取り上げて活動したい
- ・人と人との触れ合いに慣れ親しんだ私たちの年齢ではオンライン、リモートとはしっくりいかない気がする  
ワクチン接種がいきわたり、元の形に戻ることを切に望む
- ・みんなで生き生き暮らしたい
- ・コーラス
- ・今まで通りボランティアで施設訪問をしたい
- ・食事会、小旅行、ゲーム大会等全員が集いお喋りをしたり歌ったり笑ったりと楽しいひとときを作って会員同士の絆を深めたい
- ・地産のみかん、柿、オリーブに関連したイベント。来訪者の招致など

- ・日常生活においては子ども家族、友人と出会い顔を見ながら話がしたい
- ・100歳体操
- ・調理実習
- ・これまでの「当たり前」がそうでなくなっている。すべてをすぐには戻せないでしょうが、自然にみんなが集えるようになってほしい
- ・バスで近くの名勝を訪れる
- ・温泉旅行に行きたい
- ・ボランティアは日常生活が普通にできることが前提の活動。メンバーの中には現在の状況下では高リスクを伴う方も多いが、生きがいややりがいを感じておられるので、一概に自粛といってもなかなか納得してもらえていない現状がある
- ・収束して元の生活に戻りたい。ボランティア活動がしたい
- ・小学生との交流
- ・マスク等、感染対策を考えなくてよくなれば大変気持ちが楽になると思う
- ・京阪神の離れた友人と会いたい
- ・配食サービスが再開できるなら、やはり手作りにこだわりたい

## ☆その他、生活上の困りごとや、社協に期待すること等

### 【困りごと】

- ・現状では何もすることが出来ないこと
- ・子どもの屋内での遊び場がない。雨の日は家にこもりがちになり親子共々ストレスがかかる
- ・コロナワクチン接種の件でひとり暮らしの方の中には往診での接種ができないため、接種しないといわれる方が多かった。市からの接種券の封筒が来たのかよく分からないといわれる方もいた
- ・高齢化がますます進む中、正直言って皆さんの実情は分からない。認知症が進行している人もいるという様子も聞く。ひとり暮らしの高齢者、老々介護、買い物、食事の準備など…気になることが日増しに増加してくるような様子

### 【期待すること】

#### ◎情報提供

- ・初めて代表になった者には特に必要
- ・デジタル化による時代の流れに関連する内容の情報提供を希望  
→高齢になり時代の流れに取り残される不安を持つ方が多く、特にデジタル化にはあきらめの声もきくため
- ・他の団体の活動内容（活動内容、運営委員の有無など）、取り組みの成功体験・失敗体験を詳しく教えてほしい
- ・コロナ禍他地区のサロン等の活動状況が知りたい

#### ◎地元活動者の育成

#### ◎活動へのサポート

- ・読み聞かせに訪問しにくい状況下なので、朗読動画を撮影し、DVD化しようと考え中。編集方法の指導協力を希望

- ・子育て家庭が集える場所の提供（居場所づくり）
  - 子どもが歩いてこれる・駐車場がある・暖房設備が整っている場所を希望
- ・イベント開催時、他団体への呼びかけ

## 【その他】

- ・宮津市の福祉、児童福祉との分担はどのようになっている？
  - つながりがよく分からない。市が担当すること、責任を持つこと、社協の範囲などあいまいな印象
- ・この2年、高齢者と触れ合う医療関係者、福祉関係の職員さんは本当に未曾有の中でご苦勞の多いことだったと思う。社協のみなさまも万全を尽くされている様子が伝わってくる
- ・ささえあいセンターの利用時、感染対策に配慮してもらっている。利用する側も協力していきたいと思う
- ・「暮らしのかけはし」に登録された方に何かお手伝いすることができれば嬉しい
- ・少人数の集落ゆえにでかけることもままならず時折数人で集落センターに集まって近況報告程度になっている。コロナが収束すればまた紙芝居等できればと思う
- ・地域事業に協力出来ることがあれば参加したいと思う



社会福祉法人 宮津市社会福祉協議会  
〒626-0041

京都府宮津市字鶴賀 2109-2

宮津市地域ささえあいセンター内

TEL : 0772-22-2090 FAX : 0772-25-2414

作成：令和3年7月